

1兆2,585億円 2,585億円



新型コロナウイルス対策を着実に進めながら、復興・再生と地方創生を両輪に事業を展開していきます。

「地方創生」の推進

■ 輝く人づくりプロジェクト 【104事業 210億円】

● 低年齢児受入対策緊急支援事業

(こども未来局) ……【0.4億円】

待機児童の大半を占める低年齢児(0～2歳)の受け入れ体制を支援し、待機児童の解消を目指します。



● ふくしま外国語教育創生事業

(教育庁) ……【0.1億円】

英語担当教員の英語力および指導力を高め、情報通信技術(ICT)を有効に活用しながら、児童生徒の英語力向上に取り組みます。



■ 豊かなまちづくりプロジェクト 【57事業 235億円】

● 再生可能エネルギー地産地消支援事業

(企画調整部) ……【9.8億円】

自立的で持続可能な災害に強い地域分散型のエネルギーシステム構築に役立つ、再生可能エネルギー発電設備の導入などを支援します。



● ごみ減量推進プロジェクト

(生活環境部) ……【0.1億円】

1人1日当たりのごみ排出量が、全国的にも多い福島県。事業系ごみ、家庭系ごみともに、減量化やリサイクルのモデル事業を実施します。



■ しごとづくりプロジェクト 【74事業 853億円】

● スマート農業プロセスイノベーション推進事業

(農林水産部) ……【0.6億円】

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用し、農業の大規模化や効率化、高収益化を図るための実証や研究を行います。



● 林業人材育成事業

(農林水産部) ……【6.4億円】

森林再生や林業の成長産業化の実現に向けて、研修施設を整備し、林業の担い手を育成するための研修を実施します。



■ 魅力発信・交流促進プロジェクト 【31事業 32億円】

● テレワークによる「ふくしまぐらし。」推進事業

(企画調整部) ……【0.7億円】

テレワーク施設開設や県内でのテレワーク体験、企業による地域交流等を目的としたワーケーションなどを支援します。



● ワーケーションを活用した観光支援事業

(観光交流局) ……【0.7億円】

仕事と休暇を兼ねたワーケーションの環境整備や、ふくしまならではの滞在プログラムの創出を支援します。



新しいふくしま創生予算

令和3年度は、第2期復興・創生期間（令和3～7年度）という復興の新たなステージがスタートする、復興と地方創生をさらに力強く前進させていくための重要な一年です。

「ひと」「暮らし」「しごと」を軸に8つのプロジェクトで構成される「重点施策体系」

「復興・再生」の加速

■ 避難地域等復興加速化プロジェクト 【40事業 566億円】

● 廃炉関連産業集積基盤構築事業

（商工労働部）……【0.5億円】

廃炉関連産業への参入のための相談窓口「福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局」を設置し、県内企業の参入を支援することで、廃炉関連産業集積を図ります。



● Jヴィレッジ利活用促進事業

（企画調整部）……【1.7億円】

地域の交流拠点であるJヴィレッジの幅広い利活用を進め、多くの方々が地域の魅力にふれる機会を提供します。



■ 人・きずなづくりプロジェクト 【36事業 50億円】

● 避難地域への移住促進事業

（避難地域復興局）……【18.8億円】

移住希望者への情報発信や地域の受け入れ態勢整備を支援し、避難地域に全国から移住者を呼び込みます。

● チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業

（教育庁）……【1.7億円】

自然体験や社会体験などの活動を通して、心身共に健康で、主体的に復興に取り組む、たくましい子どもを育てます。



■ 安全・安心な暮らしプロジェクト 【75事業 713億円】

● 被災者健康サポート事業

（保健福祉部）……【2.0億円】

被災者の健康保持と不安解消のための支援活動を継続しながら、長期化する避難生活に対応した保健事業提供体制の構築を支援します。



● そなえるふくしま防災事業

（危機管理部）……【0.2億円】

防災ガイドブックや防災VRなどを活用し、県民の防災意識を高めるとともに、東日本大震災の教訓を伝え、風化防止につなげます。



■ 産業推進・なりわい再生プロジェクト 【64事業 737億円】

● ふくしまがつなぐ医療関連産業集積推進事業

（商工労働部）……【1.9億円】

ふくしま医療機器開発支援センターへの開発案件の集積を図るとともに、県内ものづくり企業とをつなぎ、新たな仕事を創ります。



● 「福島牛」AI肥育確立事業

（農林水産部）……【2.1億円】

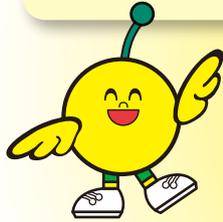
県が帯広畜産大学等と共同で開発した人工知能(AI)を活用した肉質評価システムの整備や、優良な素牛の導入を支援し、「福島牛」のブランド力を強化します。





「人」をつくる 未来を担う人材の育成

- 新しい時代に対応できるグローバルな人材を育成
情報通信技術 (ICT) 環境の整備など教育の充実を図り、子どもの情報活用能力や英語力を育てます。
- 日本サッカー協会 (JFA) との連携
JFA アカデミー福島が本県で活動を再開したことを契機に、JFA と連携し、サッカーを通じて人材育成や地域活性化に取り組みます。



新しいふくしまの未来を創っていく 3つの「創る (つくる)」



「強み」をつくる 新しい価値や魅力の創造

- 水素エネルギーの普及拡大
水素ステーションの整備支援など、県産水素の活用を促進します。
- 豊かな自然資源とその魅力を発信
自然保護意識を育てるような、自然の魅力を生かした施策を展開します。



「繋がり」をつくる 強みを生かした繋がりつなの深化

- 避難地域への移住・定住を推進
移住希望者への情報発信や受入体制の整備などを行い、新たな活力を呼び込みます。
- 浜通りの交流人口拡大
地域資源を生かし、誘客の促進や来訪者による消費喚起に取り組み、国内外へ情報を発信します。

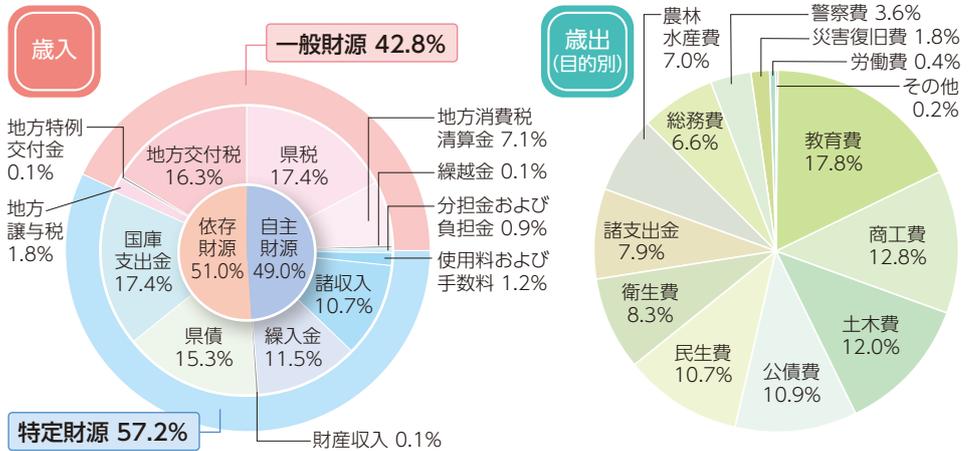
令和3年度 一般会計予算

※項目ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

問 県庁財政課
☎024(521)7029
ホームページでも詳しい資料を公表しています。

福島県財政課

検索



未曾有の複合災害から10年が経過しましたが、本県の復興はまだ途上です。さらには、新型感染症や頻発する自然災害など、多くの困難な課題を抱えています。

第2期復興・創生期間がスタートする令和3年度は、震災・原発事故からの復興と福島ならではの地方創生を更に力強く前進させていく上で重要な一年となります。併せて、喫緊の課題である新型感染症対策などにも適切に対応する必要があります。

福島の新しい未来を創り上げるため、これまで積み重ねてきた取組を土台に、これからも全力で挑戦を続けてまいります。

復興への新たなステージ
福島の新しい未来を創る
福島県知事 内堀 雅雄

知事
メッセージ
Message

